

第15回 EMR/ESD 研究会

チーム EMR/ESD を極める

会 期：2015 年 7 月 19 日（日）

会 場：伊藤国際学術研究センター「伊藤謝恩ホール」

代表世話人：工藤 進英（昭和大学横浜市北部病院）

当番世話人：藤城 光弘（東京大学医学部附属病院）

第 15 回 EMR/ESD 研究会

【事務局】

東京大学 消化器内科

事務局長 辻 陽介

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

【運営事務局】

サンプラネット

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 7 階

TEL : 03-5940-2613 FAX : 03-3942-6396

E-mail : emr-esd15@sunpla-mcv.com

ご挨拶

この度、代表世話人の工藤進英先生をはじめ、諸先生方のご協力を得て、第15回 EMR/ESD 研究会を開催できる運びとなりました。この場をお借りいたしまして、関係諸氏に心より感謝申し上げます。思い返せば、2002年、「私の EMR の手技とコツ」というテーマで、第1回 EMR 研究会（当時は、まだ「ESD」が冠されていませんでした）が開催されて以来、本会は脈々と歴史を重ねながら全国の内視鏡医が集い、内視鏡切除術について熱く論ずる場として発展してまいりました。

節目の第15回である今回は、メインテーマを「チーム EMR/ESD を極める」とさせていただきました。「チーム医療」は、内視鏡医療の現場においても当てはまります。高度化した現代の内視鏡治療は一人の天才により完結するものではなく、多職種の医療者たちによるチームワークが必須である—そのような想いを込めたテーマです。初心者と指導者、医師とメディカルスタッフ、そして内科と外科、目には見えない様々な「垣根」が存在してきたと思いますが、それらすべてを乗り越えたところに次なる地平も開けるのではないのでしょうか。今回はそうした意味を込めて、可能な限り立場の異なるお二方に登壇いただき、ご発表いただければと思っております。

今回は、セミナーにおきましても「チーム医療」を意識した内容とさせていただきました。ミニレクチャー1では、内視鏡治療において、切っても切れない関係にある、病理医の立場から、渡辺英伸先生より「病理医からの提言 —内視鏡医に期待するもの—」をご講演いただきます。ミニレクチャー2では、レジェンドから次世代への架け橋として、矢作直久先生より「パイオニアからの提言 —次世代の内視鏡医に期待するもの—」をご講演いただきます。ランチョンセミナーでは、香港より Philip Chiu 先生をお招きし、「Development of ESD for treatment of early GI cancers —experience from a surgeon endoscopist—」をご講演いただきます。また、アフタヌーンセミナーでは瀬戸泰之先生より「胃がんに対する EMR/ESD —外科医の立場から—」をご講演いただきます。それぞれ異なるお立場からの、我々内視鏡医への熱いメッセージをうかがうことができるかと思います。

今回も、全国の多くのご施設から演題の応募を頂きました。いずれの発表も示唆に富んだものばかりで、必ずや皆様の明日の内視鏡診療へ、また日本の内視鏡治療の発展へつながるものと確信しております。

梅雨から真夏へと向かう暑い最中の開催ではございますが、多くの先生方にご参加いただき、活発な議論が交わされることを願っております。東京、本郷の地で、皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

2015年7月

第15回 EMR/ESD 研究会

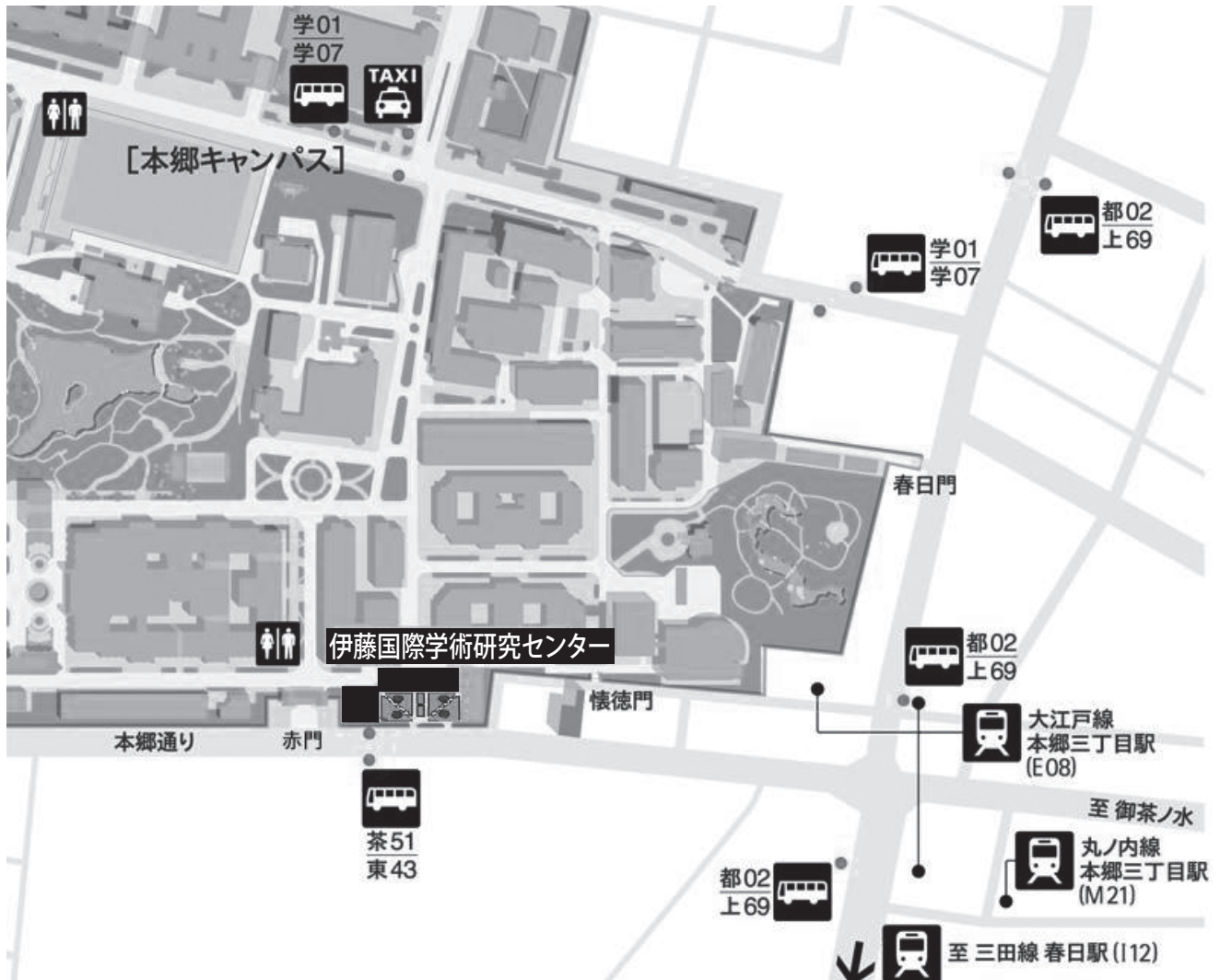
当番世話人 藤城 光弘

(東京大学医学部附属病院 光学医療診療部)

事務局長 辻 陽介

(東京大学医学部附属病院 消化器内科)

交通案内図



伊藤国際学術研究センター 地下2階 「伊藤謝恩ホール」

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

●最寄り駅

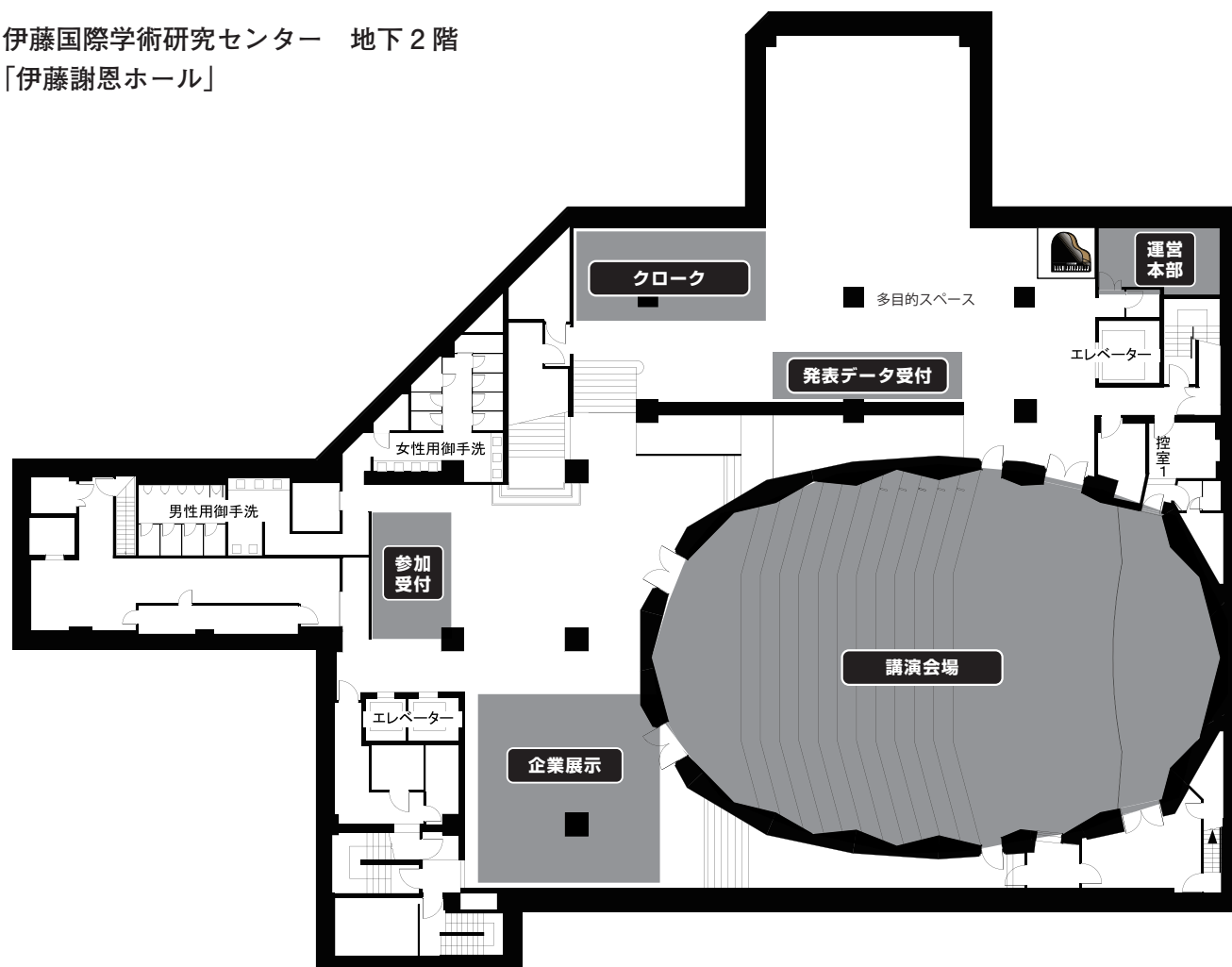
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩8分

本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩6分

湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分

会場案内図

伊藤国際学術研究センター 地下2階
「伊藤謝恩ホール」



ご参加の皆様へ

- (1) 参加受付は以下の通り行います。

時 間：7月19日（日）10：00～17：00（受付開始 9：00～）
場 所：伊藤国際学術研究センター 地下2階「伊藤謝恩ホール」
住 所：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
参加費：一般（医師・企業）¥5,000
研修医・コメディカルスタッフ ¥3,000

- (2) 会場前にて医療機器展示を行います。

ご発表者の皆様へ

- (1) 発表時間

各演題の発表時間は以下のとおりです。

会の円滑な運営のため、発表時間は厳守いただきますようお願いいたします。

- ミニレクチャー：20分（質疑応答時間含む）
- 一般演題：発表8分、質疑応答2分

- (2) 発表セッション開始時刻の **30分前**までに、会場前に設置するPC受付にて発表データの確認ならびにご提出を行ってください。

- (3) 発表データはUSBフラッシュメモリでご持参いただくか、ご自身のPCをお持ち下さい。

動画を含まれる方やMacintoshをご利用の方は、必ずご自身のPCをご持参下さい。

☐メディアでお持込みの場合

- ・会場にご用意する発表用のPCはWindows7です。（Vista・XPにも対応）
- ・アプリケーションソフトはWindows Microsoft PowerPoint 2003以降のバージョンに限ります。
- ・フォントは文字化けを防ぐためOS標準のものをご使用ください。
- ・ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ・受付時にコピーした発表データは、終了後事務局で責任を持って消去いたします。

☐PC本体をお持込みの場合

- ・PC付属のACアダプターを必ずお持ちください。
- ・会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はD-sub15ピンです。変換ケーブルが必要な機種の方はご持参下さい。

第15回 EMR/ESD 研究会 タイムテーブル 2015年7月19日(日)

09:50~10:00	開会挨拶 代表世話人 当番世話人	工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター） 藤城光弘（東京大学医学部附属病院 光学医療診療部）
10:00~11:30	セッション 1 司会 コメンテーター	メディカルスタッフセッション —ここが変だよ EMR/ESD doctor 小山恒男（佐久医療センター 内視鏡内科） 豊永高史（神戸大学医学部附属病院 消化器内科） 藤井隆広（藤井隆広クリニック）
11:30~11:50	ミニレクチャー 1 「病理医からの提言 —内視鏡医に期待するもの—」 司会 演者	榊 信廣（早期胃癌検診協会） 渡辺英伸（PCL JAPAN 病理・細胞診センター・新潟大学 名誉教授）
休憩		
12:00~12:50	ランチョンセミナー（共催：エーザイ株式会社） 「Development of ESD for treatment of early GI cancers — experience from a surgeon endoscopist」 司会 演者 特別発言	井上晴洋（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター） Philip Wai Yan, CHIU（Department of Surgery, The Chinese University of Hong Kong） 吉田茂昭（青森県立中央病院）
休憩		
12:55~14:35	セッション 2 司会 コメンテーター	教育効果を考えた専修医セッション —初めての EMR/ESD 後藤田卓志（東京医科大学 消化器内科） 松田尚久（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科） 田中信治（広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 内視鏡医学）
休憩		
14:40~15:20	アフタヌーンセミナー（共催：アストラゼネカ株式会社／第一三共株式会社） 「胃がんに対する EMR/ESD —外科医の立場から—」 司会 演者	上西紀夫（公立昭和病院） 瀬戸泰之（東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学）
休憩		
15:30~15:50	ミニレクチャー 2 「パイオニアからの提言 一次世代の内視鏡医に期待するもの—」 司会 演者	山本博徳（自治医科大学 消化器内科） 矢作直久（慶應義塾大学 腫瘍センター）
15:50~16:50	セッション 3 司会 コメンテーター	外科内科のコラボレーションセッション — EMR/ESD beyond 炭山和毅（東京慈恵会医科大学 内視鏡科） 島田英雄（東海大学医学部附属大磯病院 外科） 小野裕之（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科）
16:50~17:00	統括発言	峯 徹哉（東海大学 消化器内科）

第 15 回 EMR/ESD 研究会 プログラム

代表世話人：工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター）

当番世話人：藤城光弘（東京大学医学部附属病院 光学医療診療部）

メディカルスタッフセッション —ここが変だよ EMR/ESD doctor

司会：小山恒男（佐久医療センター 内視鏡内科）

豊永高史（神戸大学医学部附属病院 消化器内科）

コメンテーター：藤井隆広（藤井隆広クリニック）

O1-1 ESD における介助者の意義 ～専任化は有効なのか～

○秋山仁¹，石井直樹²

（聖路加国際病院 消化器センター 内視鏡検査室¹，同 消化器内科²）

O1-2 医師の診（め）・看護師の看（め）

○二宮多恵子¹，辻陽介²，稲富奈緒美¹，北川瞳¹，伊賀上由子¹，遠藤恭子¹，小田島慎也²，
藤城光弘³，小林智明¹

（東京大学医学部附属病院 看護部¹，同 消化器内科²）

O1-3 内視鏡治療における看護師の役割 —リスクマネジメント—

○加茂初美¹，工藤進英²，奥村明子¹，桜井達也²，石垣智之²，矢川祐介²，中村大樹²，
豊嶋直也²，林武雅²，片桐敦²，宮地英行²，石田文生²

（昭和大学横浜市北部病院 看護部¹，消化器センター²）

O1-4 当院 ESD における術後カンファレンスの導入を行って

○井上尚俊¹，木村伸介¹，長谷川湧士¹，宗葉子¹，堀友美¹，井口新一¹，下畝知也²，勝田麻由美²，
近本かずみ²，陸平恵子²，広瀬幸乃²，山口智裕³，玉置大³，柏敦文³，藤永陽介³，滝本見吾³，
松山希一³

（医仁会武田総合病院 臨床工学科¹，同 臨床検査科²，同 消化器内科³）

O1-5 メディカルスタッフの知識・技術向上のための内視鏡勉強会の必要性和課題

○大下祐輝¹，北村陽子²，下河邊嗣人²，角谷彰²，岸埜高明²，福本晃平²，森康二郎²，田中斉祐²，
大野智之²，金政和之²

（市立奈良病院 臨床工学室 臨床工学技士¹，同 消化器肝臓病センター 消化器内科²）

O1-6 第2世代の Hook ナイフー Jet Hook が切り開く新たな ESD

○高橋亜紀子¹，菊池勇一²，小山恒男¹，依光展和¹

（佐久医療センター 内視鏡内科¹，同 内視鏡技師²）

O1-7 大腸内視鏡施行医は患者苦痛を正しく評価しているか？

○佐野智秋，今井健一郎，堀田欣一，伊藤紗代，小野裕之

（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科）

O1-8 当院の ESD チームとしての現況

○田中翔¹, 林裕一¹, 寺井勇樹¹, 竹本隆博², 関岡敏夫², 竹田彬一², 滝本見吾³
(宇治徳洲会病院 臨床工学救急管理室¹, 同 内視鏡センター医師², 武田総合病院 消化器センター医師³)

O1-9 上部消化管腫瘍に対する ESD 導入における医師、メディカルスタッフの経験

○長谷川幸恵, 矢野貴史
(北里大学病院 消化器内科)

ミニレクチャー 1

11:30 ~ 11:50

病理医からの提言 —内視鏡医に期待するもの—

司会：榊信廣（早期胃癌検診協会）

演者：渡辺英伸（PCL JAPAN 病理・細胞診センター・新潟大学 名誉教授）

ランチョンセミナー

12:00 ~ 12:50

Development of ESD for treatment of early GI cancers —experience from a surgeon endoscopist

司会：井上晴洋（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター）

演者：Philip Wai Yan, CHIU

(Department of Surgery, The Chinese University of Hong Kong)

特別発言：吉田茂昭（青森県立中央病院）

共催：エーザイ株式会社

セッション 2

12:55 ~ 14:35

教育効果を考えた専修医セッション —初めての EMR/ESD

司会：後藤田卓志（東京医科大学 消化器内科）

松田尚久（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

コメンテーター：田中信治（広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 内視鏡医学）

O2-1 当院における胃 ESD 指導体制の現状と安全性の検討

○片岡陽佑¹, 小田島慎也¹, 竹内千尋¹, 屋嘉比聖一¹, 斎藤格¹, 坂口賀基¹, 七條智聖¹,
皆月ちひろ¹, 平山慈子¹, 辻陽介¹, 小野敏嗣¹, 新美恵子³, 山道信毅¹, 藤城光弘², 小池和彦¹
(東京大学医学部附属病院 消化器内科¹, 同 光学医療診療部², 同 検診部³)

O2-2 当院における胃 ESD トレーニングの現状と安全性を重視した取り組み

○酒井彩子¹, 山本克己¹, 道田知樹², 加藤幹那¹, 齊木浩二¹, 川崎洋輔¹, 徳田貴昭¹, 松下萌未¹,
佐藤悠¹, 日下部瑛¹, 日比野千尋¹, 徳田有紀¹, 河合知代¹, 石見亜矢¹, 濱野美奈¹, 千葉三保¹,
前田晃作¹, 内藤雅文¹, 伊藤敏文¹
(JCHO大阪病院 (旧 大阪厚生年金病院) 消化器内科¹, 帝京大学ちば総合医療センター 第3内科²)

O2-3 当院における ESD トレーニング

○吉松亜希子¹, 永尾重昭², 杉原奈央¹, 埴芳典¹, 和田晃典¹, 堀内和樹¹, 安江千尋¹, 高城健¹, 丸田紘史¹, 安武優一¹, 佐藤宏和¹, 成松和幸¹, 高本俊介², 穂苅量太¹, 三浦総一郎¹
(防衛医科大学校病院 内科学², 同 光学医療診療部²)

O2-4 びらん、潰瘍の判断に難渋した早期胃がんの1症例

○山口菜緒美^{1,3}, 道田知樹², 星野慎一¹
(沖縄県立北部病院¹, 帝京大学ちば総合医療センター², 埼玉医科大学総合医療センター³)

O2-5 当院における ESD (フックナイフ) トレーニング方法

○下河辺嗣人, 北村陽子, 角谷彰, 岸埜高明, 福本晃平, 森康二郎, 田中斉祐, 大野智之, 金政和之
(市立奈良病院 消化器肝臓病センター 消化器内科)

O2-6 当院における ESD 習得法 ～二人法について～

○福田久, 三浦義正, 岡田昌浩, 高橋治夫, 竹澤敬人, 井野裕治, 坂本博次, 林芳和, 佐藤博之, 矢野智則, 砂田圭二郎, 大澤博之, 山本博徳
(自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門)

O2-7 当院における大腸 ESD 導入について

○大野亜希子¹, 畑英行¹, 土岐真朗¹, 高橋信一¹, 辻陽介², 小田島慎也², 藤城光弘³
(杏林大学医学部 第三内科¹, 東京大学 消化器内科², 同 光学医療診療部³)

O2-8 ESD 初学者の安全性を担保した大腸 ESD 導入 ～ traction device の有用性～

○井出大資¹, 玉井尚人², 樺俊介², 猪又寛子², 大谷友彦², 斎藤彰一², 炭山和毅²
(東京慈恵会医科大学附属病院 消化器・肝臓内科¹, 同 内視鏡科²)

O2-9 若手医師の教育としての Cold polypectomy

○高田祐明, 加藤元彦, 浦岡俊夫
(国立病院機構 東京医療センター 消化器科)

O2-10 専修医の ESD におけるデンタルフロス付きクリップ牽引法の効果

○鈴木翔, 後藤田卓志, 古賀幹教, 河野真, 桑田直子, 草野央, 森安史典
(東京医科大学 消化器内科)

アフタヌーンセミナー

14 : 40 ～ 15 : 20

胃がんに対する EMR/ESD ―外科医の立場から―

司会：上西紀夫（公立昭和病院）

演者：瀬戸泰之（東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学）

共催：アストラゼネカ株式会社

第一三共株式会社

パイオニアからの提言 一次世代の内視鏡医に期待するもの—

司会：山本博徳（自治医科大学 消化器内科）
 演者：矢作直久（慶應義塾大学 腫瘍センター）

セッション 3

15 : 50 ~ 16 : 50

外科内科のコラボレーションセッション —EMR/ESD beyond

司会：炭山和毅（東京慈恵会医科大学 内視鏡科）
 島田英雄（東海大学医学部附属大磯病院 外科）
 コメンテーター：小野裕之（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科）

O3-1 当院における咽頭表在癌に対する耳鼻科とのコラボレーション治療の現況

○実綿倫宏¹，卜部祐司²，田中信治¹，佐野村洋次¹，岡志郎¹，上田勉³，茶山一彰²，平川勝洋³
 （広島大学病院 内視鏡診療科¹，同 消化器・代謝内科²，同 耳鼻咽喉科・頭頸部外科³）

O3-2 Smart shooter を用いた大腸 ESD

○菊池大輔，飯塚敏郎，三谷年史，布袋屋修，貝瀬満
 （虎の門病院 消化器内科）

O3-3 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後のステント口側病変に対する内視鏡治療

○吉田俊太郎^{1,2}，成田明子²，太田弓子²，松田梨恵^{1,2}，山口太輔^{1,2}，西川尚子^{1,2}，藤城光弘^{1,2}，
 小池和彦²
 （東京大学医学部附属病院 光学医療診療部¹，同 消化器内科²）

O3-4 胃腫瘍に対する非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術 ～管腔の内側と外側、内科と外科の垣根を越えて～

○新美恵子^{1,2}，三ツ井崇司^{3,4}，愛甲丞⁴，小田島慎也²，山道信毅²，山下裕玄⁴，藤城光弘^{2,5}，
 瀬戸泰之⁴，小池和彦²
 （東京大学医学部附属病院 検診部¹，同 消化器内科²，河北総合病院 消化器・一般外科³，
 東京大学医学部附属病院 胃食道外科⁴，同 光学医療診療部⁵）

O3-5 胃粘膜下腫瘍の Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery (LECS) におけるクラウン法の有用性

○山本頼正¹，松田達雄²，平澤俊明¹，藤崎順子¹，布部創也²，比企直樹²
 （がん研有明病院 消化器内科¹，同 消化器外科²）

O3-6 多発胃粘膜下腫瘍に対する LECS の経験

○樺俊介^{1,2}，炭山和毅¹，川村雅彦³，三森教雄³
 （東京慈恵会医科大学 内視鏡科¹，同 消化器・肝臓内科²，同 外科³）

統括発言

16 : 50 ~ 17 : 00

峯徹哉（東海大学 消化器内科）